

2010年(平成22年) 7月25日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1
☎0595-63-7402 ㊚64-2560 ✉info@city.nabari.mie.jp
http://www.city.nabari.lg.jp
携帯版 http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版へ → 

▶ 主な内容 P2…ライターの出方法、市職員採用候補者試験 P3…ひまわり、まちの話 P4…市の事務・事業への意見募集

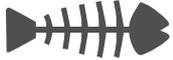


誰でも応募できるの？

市内の自治会や区などの単位でご応募ください。

個人では応募いただけません。市内で合計1,000戸程度を想定しています。応募方法など詳しくは、環境対策室へお問い合わせください。

◆応募期限…9月1日迄



生ごみの排出方法は？

「燃やすごみ」の収集日(週2回)のうち1回を生ごみ専用袋(無料)で排出してください。

生ごみの収集試行は、燃やすごみの収集日(週2回)のうち、1回を生ごみ専用袋(無料試用袋)で排出、残る1回は、従来どおり「燃やすごみ」として指定ごみ袋で排出していただくものです。市職員が、生ごみ専用袋を収集し、民間の堆肥化施設に搬入。生ごみ堆肥化の実証も行います。

◆試行実施期間…10月上旬～12月下旬



なぜ、生ごみを資源化？

「燃やすごみ」の約6割を占める「生ごみ」の資源化で、さらなるごみの減量を目指します。

ごみの発生抑制、省資源・省エネルギー化、資源循環型社会の構築に向けて、市では「第二次ごみゼロ・リサイクル社会を目指すアクションプログラム」(平成19～21年度)に沿って、「家庭ごみの有料化」「容器包装プラスチックの資源化」などを実施。皆さんのご協力により、大幅なごみの減量と資源化を図ることができました。

ごみ減量・資源化の新たなステージである第三次のアクションプログラム(平成22～24年度)では、生ごみや草木類の資源化などに取り組むこととしています。まずは、「燃やすごみ」の重量比で約6割を占める「生ごみ」の資源化を図ります。生ごみの試行収集を実施した後、実施地区世帯などからご意見をいただきながら、来年度以降の生ごみ資源収集の取組み方法について検討していきます。

8月の「伊賀地域救急輪番表」は、8月1日発行の「広報なばり」などでお知らせする予定です

8月の伊賀地域救急輪番表は、調整中のため、今号への掲載が間に合いませんでした。詳細が決定次第、市ホームページへ掲載するほか、8月1日発行の「広報なばり」に掲載する予定です。 ㊚健康福祉政策室 ☎63-7579

8月の納税(納期限…8月31日迄) 市・県民税(2期)、国保税(2期)

納税は便利な口座振替で ㊚収納室 ☎63-7439

10月から3カ月間、生ごみ資源化を試行 生ごみ資源収集の試行地区を募集

10月から3カ月間、生ごみ資源化を試行

市では、「第二次ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム」に基づき、生ごみの資源化に向けた取組みを進めており、まずは、生ごみの資源化を試行します。これにより、市民の皆さんが取り組みやすい収集方法や、収集や施設整備コストを最小限にとどめる方法を検証します。

生ごみを資源化し、堆肥を有効利用することで、省資源・省エネルギー化を進めることができます。さらに、ごみが減ると、焼却施設の延命化、ごみ処理費用の軽減、環境負荷の軽減を図ることができます。

今回、生ごみの資源収集の試行にご協力いただける地区を募集しますので、ご理解、ご協力をお願いします。

㊚環境対策室 ☎63-7496

生ごみは
しっかり水切り
してくださいね!



ご協力いただく地区の世帯には、自然に還る素材(生分解性プラスチック)で作った「生ごみ専用袋」と家庭で生ごみをしっかり水切りできて、フタ付き密閉型水きりバケツ」などを無料でお配りします。